

平成26年第5回横手市議会9月定例会

総括質疑要旨

■ 総括質疑の日程

平成26年9月17日（水） 本会議場

■ 総括質疑の順序

順番	委員番号	委員名	頁
1	10番	青山豊委員	1
2	15番	土田祐輝委員	2
3	12番	奥山豊和委員	3

1. 【10番 青山 豊 委員】

1. スポーツの各事業について

1) 平成25年度は「スポーツ立市よこて」元年であった。宣言したことにより、以前と何がどう変わったのか、市長の分析、総括を伺う。

2) スポーツ立市における庁内の部局横断の成果と今後の民間や個人等との連携について伺う。

2. 【15番 土田 祐輝 委員】

1. 社会福祉法人が運営する福祉施設に対する固定資産税減免制度の

新設について

- 1) 社会福祉法人が運営する福祉施設は、原則、固定資産税が非課税である。しかし、賦課期日（1月1日）時点で建築中の土地や建物については、未だ社会福祉事業の用に供していないので固定資産税が課税されてしまう。

法の主旨からしても事業開始した年については非課税とすべきであり、減免制度の新設を求めるものである。当局の見解を伺う。

3. 【12番 奥山 豊和 委員】

1. 人口減少社会を見据えた農業政策について

加速する少子高齢化・人口減少に歯止めをかけるための具体策を見出せておらず、また、政府による農政の大転換やTPPへの対応など、農業を取り巻く環境が依然として厳しく先行きの見えない状況の中で、これからも私たちの地域社会を守りながら次世代へと引き継いでいくために、基幹産業たる農業をどのように維持発展させていくのか。

これまで行ってきた農業政策について、農家という職業が雇用の受け皿として成り立つような所得、年間を通じて安定した収入を得ることに繋がっているのだろうか。農業に将来性や新たな魅力を感じられるようなものになっているのだろうかという視点から次のことについて伺う。

- 1) 平成25年度決算のうち、6款農林水産業費・1項農業費の分析について。具体的にどのくらい農業所得の向上や就農人口の拡大に結び付いたのか。

- 2) 農業という視点からの移住促進対策について。

- 3) 市長の考える「ブランド力」と、それを高めていくためのマーケティング政策について。